

はたらき人

沖繩信徒聖書学校
沖繩聖書神学校

沖縄県那覇市久米町
2の11 (〒900)
事務局
聖書学校
(電) 09893 (7) 8988
神学校
(電) 0988 (86) 2020

会であった。四時半の早天から始まって教会の諸集会、港町、仁川や民族村の見学、世界福音化大会への参加、ソウルから九十里の間に四日間山の集会、高速を五時間走って東海岸の教会学校教師のキャンプの見学をしました。それに韓城教会の高校生連とのキャンプである。中でも提岸里の三一記念独立教会は多くのことを考えさせられた。それは今から六一年前の一九一九年の四月、この村に日本人憲兵がやって来て、村の教会に二九人の信徒を集めて会堂の出入口をふさいで、会堂と共にそれらの人々を焼き殺してしまつた。それは前の月の三月一日に行なわれた独立運動の運動者の中にこの村の出の者がいたというだけであった。その時に夫をなくされた八五才のおばあさんに会い話を聞くことが出来ます。統治時代のことが今でもテレビで放映される。キリスト者として正しく、神の言葉に忠実に生きなければならぬことを思わされています。

八月十五日に台湾の地を踏んで喜友名師と共に、台北は翁牧師の牧する済南教会、台中は徐牧師の露峯教会、季牧師の台中民族路教会と、高雄では蘇牧師の新興教会、

羅牧師の牧する羅雅教会と、台中を中心これらの教会を見せていただきます。

長老教会の青年の夏季農村伝道というところで台中以北から南から十五人の青年たちが集められて、研修と讚美の練習をして、島と山と農村の各グループに分れて伝道に出かけて行くわけです。私たちは農村のグループに加えていただけで、彰化の草湖というアスパラの産地に五人の青年たちとバスにゆられてでかけました。草湖の伝道は十九日から二十一日の五日間で聖書分冊の配布、紙芝居でのこともたちへの伝道、映画伝道、また青年連との交わりと楽しい体験をしました。台中中会のごとも大会への参加、教師研修会への参加と大変有意義な時が与えられました。台北にもどって来て中国の歴史も展示されてある国立故宫博物院も見る事ができました。

隣国である韓国、台湾の教会と深い交わりがなされ、アジアの救いのために心をつなげて働くことの出来るように願います。



刈入れのために



沖繩信徒聖書学校副理事長

齊 藤 清 次

そして弟子たちに言われた、「収穫は多いが、働きの人が少ない。だから収穫の主に願って、その収穫のために働きの人を送り出すようにしてもらいなさい。」

主イエス・キリストのご使命は罪のうちに滅びゆくものを救い出すことであつた。そしてその同じ目的のために労する働きの人を求めておられるのである。神の国のために働く人、魂を愛してその救いのために福音をのべ伝える働きの人を主は求めておられる。

では主の求めておられる働きのとはどのような人のことであらうか。

第一に滅びゆくものへの愛をもつ人のことである。イエス・キリストご自身「群衆が飼う者のない羊のように弱り果てて倒れているのをごらんになって、彼らを深くあわれまれた(マタイ9の36)。深いあわれみ、神なき故に傷つき倒れているものへの愛、これこそ

沖繩聖書神学校生徒募集

1. 受験資格
大学卒または同等の学力を有するもの
2. 入学願書/切 三月十五日
試験日 三月十七日(火)
申し込み
3. 那覇市首里石嶺町四の二七〇
電話 那覇 八六一二〇二〇
首里福音教会内 眞壁

事務局通信

一、今まで神学校、聖書学校の運営に関しては、理事会で協議していましたが、二校の問題を能率よく、解決してゆくためには理事を二つに分け、神学校担当理事と聖書学校担当理事にして対処することにしました。

神学校担当理事は、渡真利、運天、折田、松田、眞壁の各師、また聖書学校担当理事は、齊藤、山室、安里、当銘、新垣の各師が御奉任して下さいませ。

三、聖書学校の始業時間の変更。これまで始業時間が午後七時となっているために、入学を差し控えているとの声が多くありました。

聖書学校同窓会案内

第六回卒業生を歓迎して左記の通り同窓会を開きますので、関係される兄弟はぜひ御出席下さい。

日時 三月二九日 卒業式後
ところ 沖繩福音会館
同窓会長 藤村幸貴

き人である。「聖徒たちをととのえて奉仕のわざをさせ、キリストのからだを建てさせ(エペソ4の12)主のために働くはたらき人に要する大切な事柄は、霊的に、また信仰の実践に於て、良い訓練を受けて力強い者とされているという点である。そうでないならば、この世の迷信、無神論的習慣、数々の偶像崇拜にみちている環境にあつてどうして、正しく福音を伝え、力強い主の証人となることが出来るであらうか。故にすべてのクリスチャンは、自ら求めて訓練の時をもち、ととのえられた働きの人となつてご奉仕を全とうする者でありたいと思う。」

さいわいに於いて、私たちの身近かに超教派の沖繩信徒聖書学校がある。志ある者はだれでも聖書の学びと種々の訓練をうける良い機会が提供されている。今日まで卒業された多くの兄弟が信徒伝道者となり教会のさまざまな分野に於て良い働きの人として活躍しておられることは誠に感謝にたえない。どうか、全沖繩の救いのために、先輩方に続いて、積極的に入學して学び、そこから霊的な収穫のために数多くの主の働きの人が送り出されるよう心から願つてやまないものである。

できる限り多くの兄弟に学んでいただく、というのが聖書学校の設立主旨でもありますので、始業時間を七時三〇分に変更しました。三、聖書学校第六回卒業式 三月二十九日(日) 午後三時より 沖繩福音会館で挙行いたします。多くの兄弟のお祈りと出席をお願い致します。

四、神学校では、八一年度前期の聴講生の募集をしております。科目は、一般カウンセリング(担当・田頭師)、沖繩の土俗宗教(担当・国吉師)他三科目。多くの方が聴講されることを希望します。

▽早いもので新年も一月が去り、桜便りが聞かれる頃となりました。誘接者の皆様の御協力の中で第五号をおとどけます。新年度もどうぞよろしくお願いたします。

沖縄信徒聖書学校に学んで

二年 古堅 ふさゑ

二年前もつと聖書の知識を深めどのような人にも伝道できるような、また教会学校の御奉仕にも役立たいという願いをもって、若い人達の中に混って入学致しました。

いつの間にか聖書はもう解っているような気がしていた自分が、実に少しも解っていない自分が知らされ、あらためて御言の深さを思い知らされました。二年間を振り返ります時、熱心にお教え下さった諸先生方に心から感謝致しました。毎回の学びは楽しいものでした。小さな事ですが、入学前心配していた二つの事も備えられました。一つは学びの間、娘を預けて下さる姉妹があった事、帰りの車も同期生の中に同じ方面に帰る方が車を持っていた事、それで早く帰る事ができました。信徒学校で学んだことは、一人でも多くのクリスチャンに学んでほしいと思う事ばかりでした。

この学校がさらに用いられ祝福

される事を祈ります。

二年 大城 ルリエ

仕事を終え、バスに乗り、息咳きつて駆け込む頃は七時過ぎ。また今日も遅刻、火曜日と金曜日。聖書と教科書を開けると、どこか不思議な世界へ行ったような気がします。

神様が私達に与えて下さった聖書の御言葉のすばらしさ、歴史、概論を信徒学校で広範囲にわたって学べたことは、これからの信仰生活の上で大きな恵みです。もう一つの恵みは、同じ学校で学ぶ兄弟姉妹との交わりです。教派を越えて、遠くから近くから来る主にある兄弟姉妹とともに学び、交わったことが最大の収穫だと思っています。

二ヶ年の学びの背後では、教会の皆様のお祈りと励ましがありました。これまで講義を担当してくださった先生方、教会の皆様へ感謝します。

二年 下田 清 亀

聖書学校に入ったことは、私にとつて量り知れないほど有益なことでした。

私は何をするにもあきつぱく直に他の事に目うつりしやすく、勉強するにも机に向つて十分から二十分出来ればよい方でした。そのような私が、イエス様を救い主と信じて三年目を迎えたころ、牧師や本校の学生であった新垣兄や教会のみなさんにすすめられて入学しました。

一週のうち火曜日と金曜日の午後七時から九時まで、それぞれ二時間の学びをしますが、教会で得ることのむづかしい聖書の深い学び、また他教会の先生方の御霊による力強い教えによって、日々新しくされる思いです。

二年 赤嶺 昌 美

「あなたは、真理の言葉を正しく教え、恥じるところのない練達した働き人になって、神に自分をささげるように努めなさい。」

第二テモテ二章一五節 主の恵みと憐みによって、二年間の学びが続けられましたことを

心から感謝いたします。私にとつて聖書学校は、信仰成長の大きな助けとなりました。御言に対する確信が与えられたことと奥深い学びが、教会学校や聖書研究などの奉仕に助けとなっています。それと同時に学び不足や怠慢さを知りました。もつと御言に対して、うえ濁を覚え、神様が与えようとしている恵みを十分に受け取ることのできる謙遜な信仰者になりたい (三項につづく)

一九八一年 沖縄信徒聖書学校生徒募集

△募集人員 二〇人

△入学資格 新生の明確な自覚をもち、受洗後一年以上忠実な教会生活を送っている者。

△修業年限 二年(毎週火曜日、金曜日午後七時三〇分~九時)

△願書〆切 二月二十九日

△入学試験 三月二日午後七時

科目 聖書・一般常識・小論文及び面接

将来信徒伝道者として、クリスと教会に仕えたいと願う者は、ぜひ本校に入学してください。

クリスマス感謝会

多忙の中を勞して下さった先生方に感謝します。教派を越えた兄弟姉妹の楽しい交わり、聖書の学び、ぜひ多くの方が神様の栄光のために学んでほしいと思います。

二年 金城 嘉代子

神様の守りと導きによって二ヶ年の学びが終ろうとしている事を感謝致します。また私達のために愛と熱意をもって勞をとって下さった先生方に感謝致します。

兄姉と交わり、そこで話された信仰の証は私の励みになりました。聖書が靈感された書物であり、「人を教え正しくし義に導くのに有益である」ことを動かさない真理として受け、み言葉が人を生かすものであると確信させられました。そして、主の御心だけが優先されるべきで、み言葉に立って生きるという事がいかに大切であるかを教えられました。

これまでの学びを手がかりとして更にも言葉を学び、自らをおしむ者でなく主のしもべとしてつとめ励げみたいと思います。



クリスマス感謝会風景

一九八〇年度のクリスマス集會を、協力教会諸兄姉、卒業生、在校生の御協力のうち盛大に行うことが出来ましたことを、御礼申し上げます。例年ですと二・三〇名の出席ですが、今回はO.L.B.S、O.B.Sが合同して、沖縄の多くのクリスチャンの方に学校を紹介したいと、会場を校舎から沖縄祈祷院に移し、盛大くさんのプログラムで、七〇余名の出席をいただきました。

聖書を知ることが、人の歩みにもどのように大きな影響を与え、力となるか、在校生が心うつつあかしをしてくれました。また卒業生の方々も、各教会で良き奉仕手となつてつかえていることを聞いて嬉しく思いました。卒業生の方は聖書学校後援会を発足させようとしておりましたが、卒業式懇話会の集会とちがひ、卒業生の頃には具体的に活動を始めようとの有志の方々が準備しています。学校事務局としても、今後、O.L.B.S・O.B.Sの両校が発展成長し、沖縄の福音宣教を進める鍵となるためにも後援会には大きな期待をしていますので、卒業生の方々御協力下さい。尚、クリスマス会当日学校の財政的必要の要請に対して、多くの兄姉から約束献金いただきました。御座いました。

O.L.B.S・O.B.Sでは毎年十二月第一聖日夜を、クリスマス集會日として定着させる予定ですが、このような会を通して、多くのクリスチャンの方に学校を紹介したいからと願っていますので、初めての方も参加して下さい。

韓国・台湾

の夏季実習

神学校三年 稲福 正一

大変おそくなりましたが、昨年の神学校の実習報告をさせていただけます。夏季実習は、私達の神学校の特色の一つで、夏季休業の間に韓国と台湾の教会を視に行くことです。今回の夏季実習は七月末日に沖縄をたつて、韓国、その後台湾と、九月一日に帰って来る、まるまる三五日間の旅でした。韓国は一人でしたが、台湾では引率の先生がいました。韓国はメソジスト教会の九老中央教会、台湾は台湾長老教会、多くのものを、多くのことを教えられました。

韓国に着いた日は雨が降っておりまして。郭牧師と二人の息子たちが空港まで迎えに来てくれました。郭牧師、奥様、三人のこどもたち、また教会の方々が歓迎していただきました。感謝でした。

九老中央教会は、一九六四年に開拓され、現在二千人の教会員を持ち、礼拝は七時、九時、十一時、二時の四回、千五百人の教会学校のこどもたち、百五十人の教会学校教師、四百人の長老、執事たちと急速に成長したメソジストの教会 (四項につづく)